

No.2
2010.7



発行：八咫水道企業団

〒289-2104 匝瑳市生尾10番地

<http://www.hasso-suidou.jp/>

水道だより

CONTENTS

施設見学レポート
水道の水はどこから来るの
インフォメーション



『災害時に備えて』

匝瑳市立豊栄小学校 4年生の児童37名が給水タンク車から
水を受け取る給水訓練を体験しました。

八咫市場配水場
2010年6月10日 施設見学会にて

給水人口

- 匝瑳市
32,681人 (-226)
- 横芝光町 [光地域]
9,707人 (72)
- 全体
42,388人 (-154)

普及率

- 匝瑳市
81.06% (0.33)
- 横芝光町 [光地域]
85.97% (1.08)
- 全体
82.14% (0.50)

平成22年3月31日現在
()内 前年度比較増減

また、地域の皆様方との協働、広報・広聴の充実などに取り組み、水道の重要性をアピールするとともに、より安定性の高い水道施設構築の実現を目指し取り組んでまいりますので、皆様方の一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

現在では、四万二千人を超える地域の皆様方にご利用いただき、微増ではありますが給水戸数は年々増加しております。引き続き、今まで築き上げてきた水道に対する信頼を損なうことなく、お客様の視点に立って満足していただけるサービスの提供に努めます。

八咫水道企業団は、安全で安心できる水道水を安定的に供給する事業を展開して、給水開始以来、本年七月で三十三年が経過しました。

安全・安心を確保
信頼で結ばれる水道を目指して



八咫水道企業団
企業長 太田 安規

施設見学レポート

豊栄小学校4年生のみなさんが
施設見学にきてくれました



八匠水道企業団では毎年、「水の授業」の一環として小学生の施設見学を行っています。

今年も6月10日に、元気いっぱいの豊栄小学校4年生のみなさんが見学にきてくれました。

見学では、最初に「私たちと水との関わり」の話をしたり、実際に「どうやって水を安全に管理して運んでいるのか」施設の中の仕組みを見てもらいました。

最後は災害時を想定した防災訓練を行いました。みんな最後まで一生懸命取り組んでくれました。



■ 私たちと水の関わり

水は私たちの体をつくり、生きていくのに欠かせません。海外から輸入している食べ物などを作るのにもたくさんの水が使われているので日本は水の輸入国と言えます。

◀身の周りの水の話がたくさんしました

■ 水を管理する仕組み

企業団では安全でおいしい水をいつも安定して送るために、いろいろな方法で水の検査と管理を行っています。

普段見ることのできない
監視室などを案内しました▶



■ 防災訓練

最後に防災訓練として災害時に行われる給水タンク車からの給水を子どもたちに練習してもらいました。

近年再び関東大震災のような大地震が起こると言われていますが、大きな災害時には各地域で指定の避難所にこの給水タンク車できれいな水を運べるよ

う、企業団では耐震化施設を整えています。

水は持ってきていただいた容器に入れることもできますが、企業団では持ち運びに便利な非常用飲料水袋を用意しているので、子どもたちにはこの袋の使い方を試してもらいました。

▲袋の準備に悪戦苦闘していた子どもたちですが、いざ給水タンク車から袋に勢いよく水が入るととても喜んでいました



企業団では災害時などに使用する給水袋(非常用飲料水袋)をいくつか準備しています。

この袋には6リットルまで水を入れることができ、持ち手がついているので持ち運びに便利です。さらに上の写真のよう

にひもを結ぶだけで背負うこともできます。使用後は熱湯で洗って乾かしておけば再利用ができますが、水の保存用ではないので中の水はお早めにお使いください。

緊急時用にご家庭でも準備しておくといいでしょう。



特集 八匠水道の水はどこから来るの？

水源から配水場まで

朝起きてお茶を一杯いれようとする時や仕事でかいた汗をシャワーで流そうとする時など、蛇口をひねれば、いつでもきれいな水が使える水道。普段、当たり前に使っている水道水ですが、ふとした時に、「この水はどこから来るの？」と考えることはありませんか。今回は、みなさんが使っている水道の水が、どのような道をたどってくるのかをお知らせいたします。

利根川両総水門



八匠水道の原水となるのは、利根川の水になります。この利根川両総水門がスタートとなります。

両総第一揚水機場



利根川から取り込んだ水は、ここのポンプで汲み上げられ、自然流下方式（水が高い所から低いところへと流れる性質）により、各地へと水を送ります。

両総用水共用水路（栗山川合流地点）



揚水機場で汲み上げられた水は、トンネルを通過して栗山川へと流れていきます。

九十九里地域水道企業団光浄水場



光浄水場では、栗山川から汲み上げた水に「沈殿」「ろ過」「消毒」などの処理を行います。

八日市場配水場



光浄水場で浄水処理された水は、八日市場配水場及び光配水場へと送られます。こうして送られた水は、匠瑤市・横芝光町(光地域)のみなさんのお宅まで供給されていきます。

配水場から蛇口まで

配水場から各ご家庭までは、自然流下方式により水が送られます。利点として、災害などで停電になったとしても、ポンプなどの動力を用いないため、配水池に水が蓄えられている限り、給水を行うことができます。

また、配水管の種類としては、ダクタイル^{ちゅうたいる}鑄鉄管・ビニール管などが使用されています。しかし、最近では耐震性を重視して設計された高機能ダクタイル鑄鉄管、管を融着接合する配水用ポリエチレン管などが登場し、適宜配水管の布設替え工事が行われています。

水道管の耐震化を進めています！

平成21年度末までに布設した管路の総延長は540km。そのうち、創設当初の短期間（10年間）で集中的に整備した延長は330km（全体の60％）で、近年、これら老朽化した管路からの漏水が増えています。災害発生時においても水道による安定給水の確保が住民生活や社会活動に極めて重要となっていることから、老朽化した水道管については耐震管への布設替えを進めています。



工事場所 横芝光町母子地先（農業用水路）
工事内容 昭和49年度に架設した鋼製の水管橋を防食性に優れたステンレス製の水管橋（青色部）へ架設替えしました。



工事場所 匠瑛市野手地先（県道八日市場 - 野栄線）
工事内容 昭和51年度に布設した鋼管を耐震性に優れたフレキシブルステンレス管へ布設替えしました。

夏休み水道施設見学

8月1日は「水の日」、8月1日～7日は「水の週間」です。今年は『将来を安全・安心に暮らすため、水を大切に使う社会へ』をテーマに、国、地方公共団体および関係諸団体が連携して普及・啓発活動を行います。

八匠水道企業団でも活動の一環として、次の通り施設見学を実施することにいたしました。お子さんの夏休みの研究や見学にもいかがですか。是非ご参加ください。

- 開催日時** 8月2日（月）
午前10時から正午まで（雨天決行）
- 開催場所** 八日市場配水場（匠瑛市生尾10番地）
- 受付期間** 7月12日（月）から7月23日（金）（土・日・祝日を除く）
- 申込先** 八匠水道企業団（☎0479-73-3171）
- 見学概要** 水を送る仕組み、安全な水を管理するシステム

水質検査計画と結果の公表

水質検査の適正な実施、利用者等への適切な情報提供のため、毎年3月に新年度の水質検査計画を定め、これに基づき実施し、6月に前年度の検査結果を評価・公表しています。

●検査の種類

- ・毎日検査（毎日、年365回）
- ・定期検査（月1回、年12回）
- ・全項目検査（年4回）
- ・トリハロメタン検査（年4回）
- ・臨時検査（随時）

お客様のご意見などがありましたら、八匠水道企業団までご連絡ください。

【ホームページアドレス】

<http://www.hasso-suidou.jp/>

お問い合わせ等



八匠水道お客様センター ☎0479-79-7001

営業時間 月～金、土（午前中）（祝日・年末年始を除く）

* 水道の使用開始・中止 * 検針 * 水道料金に関する事など

八匠水道企業団 ☎0479-73-3171

* 上水道の新規申し込み * 水道工事に関する事

* 水質 * 道路から水が漏れているとき

* その他のお問い合わせ、ご意見などもお気軽にお寄せください。